



**問** 市内在住外国人は5年で倍増している。多文化共生社会のあり方についてどう考えるか。また、具現化するためにどのような施策が考えられるか。

**答** 外国人と市民がともに安全で安心して暮らせるまちづくりを目指したい。今後は団塊世代を活用した人材バンク制度や外国人ネットワーク制度の確立などを考えている。

**問** ポジティブリスト(残留農薬基準適合一覽)制度新たに導入された制度の周知はどのようか。

**答** 農家には農協広報紙への掲載、講習会の開催を通じ普及を図っている。非農家には販売店に薬物散布の注意ポスターの掲示をお願いしていく。

その他の質問  
1 鉄道高架と側道整備

**伊藤勝美(公明党)**

**防災対策の拡充について**

**問** 災害伝言ダイヤル171を保護者と保育園、小中学校間の安否確認に活用してはどうか。また、市のホームページに独自の災害用伝言板を導入する考えはあるか。

**答** 災害伝言ダイヤルは災害時の安否確認として非常に有効な手段であり、今後は体験利用のPRに努め、非常時にすぐ活用できるようにしていきたい。また安否確認には複数の手段を用意しておくのが望ましく、独自の伝言板システムの研究もしていきたい。



**問** 避難所施設に災害時にトイレとして使えるように、事前に自然還元排水溝を整備してはどうか。

**答** 自然還元排水溝の設置にはいくつかの問題があると思うが、教育委員会とも協議をしていく。

その他の質問  
1 青色防犯灯の導入

**伴 捷文(市政クラブ)**

**職員提案制度の活用を**

**問** 市の事務事業改善に職員提案制度を今以上に活用すべきと思うがどうか。

**答** 16年度52件提案で6件の採用、17年度39件の提案で6件の採用があり、旅費日当の廃止、公用車の集中管理など効果をあげている。褒賞金アップなど制度の見直しを検討していく。

**市の健康長寿対策は**

**問** 高齢化が進む中で、市は健康長寿対策をどのように考えているか。また商工会議所が立ち上げた「癒しとアンチエイジングの郷」プランにどのように呼応しているか。

**答** 若々しく元気な高齢者づくりを目的に、健康意識の啓発、地域保健サ-



ビスの充実などを総合的に推進していく。介護予防事業を継続的に推進することもひとつのアンチエイジングであると考えている。

**鎌田篤司(新政クラブ)**

**地域活動奨励交付金の大幅な削減について**

**問** 地域活動の大切な原資である地域活動奨励交付金の大幅削減に対してどのように対応するのか。

**答** 今年度から市行政連絡調整事務委託料の見直しを始めた。総合的に検討して、本来あるべき委託料の姿を探っていく。

**市町村合併について今後の考え方は**

**問** 周辺の町が豊川市との合併を目指しているようだが、蒲郡市は合併についてどのような考えをもっているか伺う。

**答** 周辺市町の動向を見守りつつ、最も大切な市民の皆様の意向を考え、対応していきたい。国の施策